

『日本の教育DXとICT教育の国際動向を深める勉強会』 第2弾ご案内

## スウェーデンにおける

## 『デジタル教育推進からアナログへの回帰』

～大転換の根拠と科学的裏付け・直面する課題～

読売新聞が10月22日の朝刊一面トップで、「教科書『紙』に回帰」「スウェーデン・端末重視で学力低下」の見出しで突然に報道しました。今までマスコミ各社とも欧州のデジタル教育については、その先進面のみを報道していました。講師の田中氏は、すでに2年前から、欧州のICT教育回帰の状況を報告してきました。今回、下記の内容で準備中です。

- ・読み書き・計算、紙と手書きの重視、教育法改正など、国としての大転換の動向
- ・デジタル教育推進で、失ったもの（子どもの学力・人間的共同性、教師の指導性・専門性）
- ・科学的研究と裏付け、実態調査、諸団体の見解
- ・新たな改革政策の推進
- ・新自由主義教育政策など、大きな背景。そして、日本はそこから何を学ぶか、です。

■日時：12月1日(日) 14時～16時

■オンラインのみ 入場：13時40分から

■参加費：無料

■申込み締切 10月28日(金)

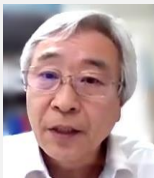
## ■時程

(1)世話人あいさつ 伊藤賢一氏(群馬大学情報学部教授)

(2)講演 田中康寛氏 (80分)(大阪教育文化センター事務局次長、教育問題研究者)

(3)質疑・意見交換 (40分)

\*司会進行：大谷良光(子どものネットリスク教育研究会代表、元弘前大学教授)



## 講師 田中康寛氏

1957年生まれ、大阪府高槻市立中学校教諭(理科)

退職後一漁師、大阪教育文化センター勤務、子どものネットリスク教育研究会  
専門委員会スーパーアドバイザー、教育問題研究者著書：『教育の未来を拓く、学校でのICT「活用術」』（2023、大阪教育文化センター編）他  
翻訳：「ユネスコ2023年グローバル教育モニタリングレポート：教育におけるテクノロジー」

## ■第2弾 2つの受講方法と申込み

## ①開催日にオンラインで参加する

①のQRコード

⇒事前にURLかQRコードからGoogleフォームで申込み

- GoogleフォームのURL、

<https://forms.gle/a29ch33Q2aFhcY9q9>

②のQRコード

## ②「勉強会」開催日に参加できない場合

⇒事前に申し込めば、勉強会終了後「講演録画(YouTube)」のURLと資料データ(PDF)を送付

- GoogleフォームのURL、

<https://forms.gle/twDM8VoPJ5jUKXCD9>

■この「お知らせ」を、問題意識をお持ちの友人、お知り合いにお伝え下さい。

■問い合わせ [ed.dx.study.group@gmail.com](mailto:ed.dx.study.group@gmail.com)